



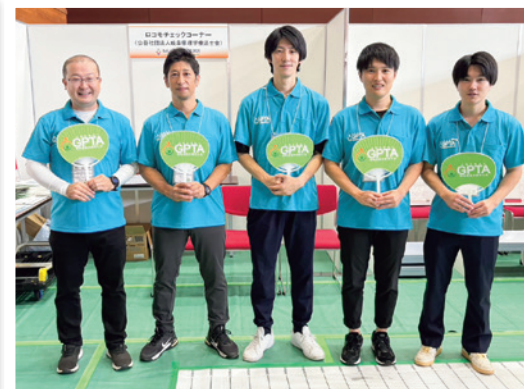
GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

らいちょう

No.155

2025.11.25 発行

(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌 <https://gifu-pt.jp/>



目次

巻頭言	2~3
ねんりんピック活動報告	4~6
ヘルス&ウェルネスステーション	7

活動報告	8~10
会員の声	11



未来の理学療法を支える人と 場を育むために

岐阜県理学療法士会 副会長 三川 浩太郎

日頃より、岐阜県理学療法士会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和7年6月より副会長を拝命いたしました、中部学院大学の三川浩太郎です。微力ではございますが、岐阜県理学療法士会のさらなる発展のために尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は大学教員として未来の理学療法士を育成する立場にあり、「養成校と臨床現場、そして県士会との橋渡し役」を果たすことも、私の重要な役割だと考えています。その視点から、今回は学生や新人理学療法士に向けた日本理学療法士協会の取り組みと、私自身が岐阜県理学療法士会から得たことを紹介します。

■ 学生・新人を応援する日本理学療法士協会の取り組み

1 国家試験応援メッセージ(LINE)

2025年10月から、国家試験受験者に向けてLINEを通じた応援メッセージの配信が行われています。全国の養成校教員からのメッセージや、勉強のコツ・心構えの紹介などが届けられ、受験期の学生を温かく支えています。

2 漫画を用いたリーフレット

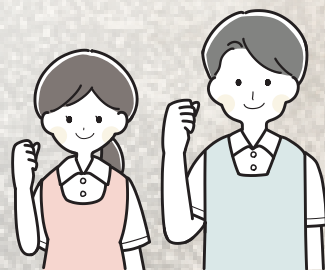
職能団体の活動への理解を深める「団体紹介編」と生涯学習制度を紹介する「あなたのパートナー編」の漫画リーフレットが作成され、養成校を通じて学生に届けられています。協会ホームページから閲覧可能です。

URL : https://www.japanpt.or.jp/pt/privilege_guide/2025/

3 新人オリエンテーションの案内

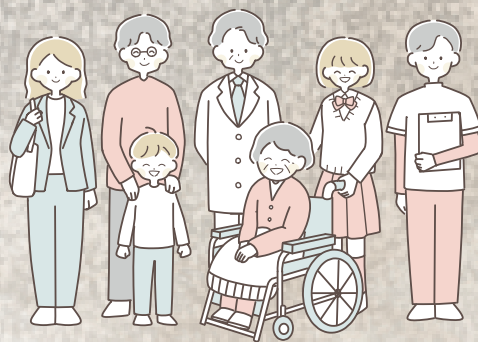
各都道府県士会主催の新人会員に向けたオリエンテーションの案内が協会ホームページに掲載されています。まず士会と関わりを持つことが、施設内にとどまらないネットワーク形成のきっかけになることを期待しています。

これらの取り組み等により、協会は理学療法士を目指す学生に温かなエールとキャリア形成の道筋を示しています。卒業後まもなく県士会とつながることは、将来的な臨床や学術活動での発展、さらには地域社会への貢献につながる大切な一歩です。教育現場の立場から、私も力強く後押ししていきたいと考えています。



■私が岐阜県理学療法士会から得たこと

私が県士会の役員に初めて就任したのは2012年、研修部長としてのスタートでした。その後、2021年に理事(学術副局長)・学会運営部長を、2025年に副会長を拝命いたしました。その間、第32回および第40回東海北陸理学療法学術大会では、学術局長として学会運営にも携わりました。



振り返ると、この十数年にわたる士会活動を通じて、私が得た最大の財産は「人とのつながり(人脈)」です。岐阜県内における多くの理学療法士と出会い、そのつながりが「教育」・「研究」・「臨床」のすべてにおいて、私自身を大きく成長させてくれました。とりわけ、その積み重ねを実感したのが、先日開催された第35回岐阜県理学療法学会学術集会です。本学の教員や多くの卒業生が運営スタッフとして関わり、そして卒業生(学部・大学院)が発表する姿を目の当たりにし、とても頼もしく、また嬉しく思いました。こうして「人」が育ち、「場」が築かれていくことこそ、未来の理学療法を支える礎になると感じました。

職場の枠を超えた士会活動の中には、共に学び支え合う岐阜県内の理学療法士との出会いがあります。若手会員の皆さんにも、臨床だけでは得られない「人とのつながり」を体験していただきたいと願っています。



第35回岐阜県理学療法学会学術集会にて(2025年6月15日)

ねんりんピック岐阜2025

1.開催概要

- 日程** 2025年10月18日(土)～10月20日(月)
会場 岐阜メモリアルセンター 健康ふれあい広場ブース
対象者 ねんりんピック参加者及び一般来場者



2.活動概要

岐阜県理学療法士会では、ねんりんピック岐阜2025の健康ブースにおいて、参加者及び一般来場者を対象とした「ロコモティブシンドローム(ロコモ)予防啓発活動」として、ロコモチェックを実施しました。ロコモは運動器の障害によって移動機能が低下した状態であり、高齢者の介護予防において重要なテーマです。来場者の健康寿命延伸に寄与することを目的とし、P5の内容で実施しました。



活動報告



3.実施内容

- 立ち上がりテスト(40cm・30cm椅子使用)
- 2ステップテスト
- 理学療法士による個別アドバイス・運動指導



来場者にロコモ度を測定していただき、結果に応じたフィードバックをその場で提供。正しい運動習慣の必要性を伝え、予防の重要性を啓発しました。



4.参加状況

参加者数 約300名(3日間合計)

年齢層 60代～80代が中心



参加者からは、「自分の体力の状態が分かってよかった」「運動のモチベーションが上がった」などの前向きな感想が多数寄せられました。また、各県の代表として日ごろから練習している選手の身体能力の高さに驚きを感じました。それぞれの想いを背負った各県各市の特徴あるユニフォームにも一体感があり、大変和やかな雰囲気では会場に足を運んでくださいました。

5.今後に向けて



今回の活動を通じて、ロコモ予防の重要性が多くの方に伝わったと実感しています。今後も地域に密着した活動を継続し、県民の健康づくりに貢献してまいります。また、次年度以降のねんりんピックや地域イベントにも積極的に参加し、ロコモ予防啓発の輪を広げていく所存です。

ねんりんピック2025 岐阜市テニス交流大会

ケアスポットコーナー活動報告

岐阜県理学療法士会
職能局メディカルサポート部
堀 丈裕

2025年10月18日より第37回全国健康福祉祭さふ大会(ねんりんピック2025)が開催され、職能局メディカルサポート部は岐阜市テニス交流大会ケアスポットコーナーを担当させていただきました。

10月19日(日)、20日(月)とも5名ずつ当会員の先生方にご参加いただき、2日間で52名の大会参加選手の方々にマッサージやテーピングを実施させていただきました。

コーナーにご来室された選手の皆様からは、身体ケアのご要望だけでなく医学的知識や日常のトレーニング方法についてのご質問をいただきました。健康や体力維持への意識の高さに驚かされたとともに、スポーツへの情熱に大変刺激を受けました。施術を受けられた方からは高い満足度と温かい感謝のお言葉をたくさん頂戴することが出来ました。

また、ご参加された先生方とも日頃のご経験や治療技術を共有させていただき、普段では得られない貴重なお話を伺うことが出来ました。施術を担当されている際の実際の技術やコミュニケーションを間近で拝見することで、今後の活動に活かすことが出来るよう努力していく必要があると感じました。

今回のケアスポットコーナー運営を通じて、これまでの経験に無い新たな発見や、今までお会い出来なかった全国の選手の方々や当会員の先生方との新しい出会いがありました。引き続きスポーツ現場での活動を通じて、僅かではありますが地域貢献を果たしていく所存です。そしてコーナー運営にご参加下さいました10名の先生方に改めて心より感謝を申し上げます。この度は職能局メディカルサポート部にこのような貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございました。



ヘルス & ウェルネスステーション

in イオンモール各務原インター



～産・官・学・民が連携した健康増進イベント～（上半期 中間報告）

岐阜県理学療法士会では、イオンモール各務原インターにて、地域の皆さまの健康づくりを支援するイベント「ヘルス&ウェルネスステーション」を毎月第3火曜日に開催しています。

本イベントは、中部学院大学、平成医療短期大学、岐阜保健大学、東海中央病院、岐阜県、各務原市、ROU、メガスポーツなど、大学・医療機関・自治体・テナントが協働する“産・官・学・民連携型”の健康増進事業です。

上半期は、InBodyによる体組成測定、体力測定会、コグニサイズ体験、ウォーキング指導などを通して、多くの来場者にご参加いただきました。理学療法士が個々の測定結果をもとに生活習慣改善や運動のアドバイスを行い、「自分の体の状態を知る良い機会になった」「無理なく続けられる運動を教えてもらえた」など、前向きな声を多数いただいています。

この活動を通じて、地域における健康づくりへの関心が着実に高まっていることを実感しています。

下半期も引き続き、「楽しく学び、続けられる健康づくり」をテーマに、理学療法士会として積極的に参画し、地域住民の健康維持・増進に貢献してまいります。

また、本イベントでは毎回、理学療法士がスタッフとして参加し、測定や相談対応、体験プログラムの運営を行っています。地域活動に興味のある県士会員の皆さまは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。いつでもお待ちしております。

wsmw0527@gmail.com：地域職域連携推進部長 若山帝祈

（文：地域職域連携推進部／若山帝祈）

第43回

ぎふ市民健康まつり

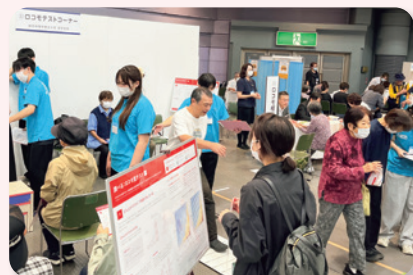


令和7年10月19日(日)、岐阜市民文化センターにて「第43回ぎふ市民健康まつり」が開催されました。本イベントは、岐阜市の医師会・歯科医師会・薬剤師会などの職能団体が主催し、市民や来場者の健康増進および啓発を目的としています。今年は44のコーナーに加え、音楽やゲームを通じた体操イベントも行われ、岐阜県理学療法士会岐阜支部も主催側として9名の運営スタッフで「ロコモチェックコーナー」「理学療法紹介コーナー」を出展しました。

理学療法士会のコーナーでは医師会と連携し、ロコモテストの結果を整形外科医師に引き継ぎ、判定や相談を実施した後、理学療法士による運動指導や理学療法の紹介へとつなげる流れを取りました。この流れにより来場者にとって質の高い体験を提供することができました。

当日朝は小雨も降り不安定な天候での開始となりましたが、過ごしやすい気温となり、また文化センター周辺では「サンデービルディングマーケット」も開催されていたこともあり、前回の222名を大きく上回る285名の方にご来場・体験いただきました。会場全体としても大変な賑わいとなりました。

多くの方が真剣にロコモテストに取り組まれ、健康に関する相談をされていました。理学療法的重要性や健康づくりへの関心を高めることができ、有意義な一日となりました。今後も、岐阜市民の皆様が安心して相談できる存在として、継続的な啓発活動や交流の場を提供していきたいと思っています。



PTフェア in イオンモール大垣



日 時：令和7年7月13日(日) 10:00~15:00

場 所：イオンモール大垣

参加スタッフ：10名

(大垣徳洲会病院、西美濃厚生病院、西濃厚生病院、新生病院、養老整形外科クリニック、大垣中央病院、介護老人保健施設ラポール、大垣市民病院)

西濃支部では、日本理学療法士協会60周年記念の全国一斉イベントに合わせて、令和7年7月13日にイオンモール大垣でPTフェアを開催しました。

当日は、体組成計InBodyを用いた筋肉量・体脂肪量の測定や、歩行分析機器AYUMI EYEによる歩き方チェックを実施し、ご自身のからだの状態を客観的に知っていただく機会を提供しました。測定後は理学療法士が結果を説明し、健康維持や運動の習慣づくりに向けたアドバイスを行いました。同イベントとしては3年目となりましたが、過去最大の129名の方にご参加いただき、健康づくりへの関心の高さを実感しました。

今後も、地域の皆さまが安心して元気に生活できるよう、理学療法士ならではの専門性を活かした活動を継続していきます。

最後に、会場をご提供いただきましたイオンモール大垣様、運営に携わっていただいたスタッフの皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。





令和7年10月11日に中津川市のひと・まちテラスで開催された健康フェアへ参加しました。

運動体験コーナーではAYUMI EYEを使用した歩行分析を実施し、測定したデータをもとに、歩き方の傾向や日々の運動、機能維持のための体の使い方等の指導を行いました。

当日は155名の方にご参加いただき、測定を受けた皆様からは大変ご好評をいただきました。



● 研究開発委員会からです ●

皆さんこんにちは。研究開発委員会の留田(とめだ)と申します。

岐阜県理学療法士会では、勉強会や研修会などで活動している研究会に対して、研究費を助成しております。令和7年度現在、岐阜県アスレティックリハビリテーション研究会、岐阜県糖尿病療養研究会、岐阜県呼吸循環代謝リハビリテーション研究会の3団体が助成対象となっております。助成費は1年に3万円の支給となります。研究会活動には条件が2点あります。1点目は、現行では年度内に対外的に一度の研修会もしくは、イベントでの参加活動などを開催することとなっております。2点目は岐阜県理学療法士会員が3名以上在籍していることとなっております。以上の条件を満たして、理事会で承認されれば助成対象研究会として活動していくこととなります。ぜひ活動をもっと活性化したい、対外活動でアピールしたい研究会がございましたらご連絡ください。詳細は岐阜県理学療法士会のホームページにも記載しております。

連絡先 研究開発委員会 中濃厚生病院リハビリテーション科 留田隆志

Tel : 0575-22-2211 mail : rehabiri@chuno.gfkosei.or.jp



私が働く山田病院小児リハビリについて

医療法人和光会 山田病院
小森 莉子

1.小児リハビリの紹介—神経発達症を有するお子さんへのリハビリって何をするの？—

小児リハビリは発達特性を有するお子さんにとって大切な支援のひとつです。私は普段自閉症スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(SLD)、発達性協調運動症(DCD)など神経発達症を有するお子さんに支援をおこなっています。これらの診断名に関わらず、「集団行動や人とのやりとりが苦手」「指示が入りにくい」「落ち着いて行動ができない」「体の使い方、手先を使った細かい運動が苦手」「言葉の発達が遅れている」など様々な困りごとがあります。小児リハビリではこの困りごとに対し、発達特性に合わせて日常生活がスムーズに送れるように支援をしています。また、お子さんひとりひとりの発達段階や特性、困りごとを評価し目標を設定します。特に、遊びを通してお子さんの「できた」を増やしていく支援を大切にしたりリハビリを実施しています。理学療法では、姿勢やバランスの練習をして身体の使い方や運動能力の向上を支援します。作業療法では食事や着替えなど日常生活動作の支援をします。言語療法では、言葉の理解や発音、コミュニケーション力の向上を支援します。保護者との連携を通じて、ご家庭や園、学校での対応にもつなげていきます。普段何気なく使用している言葉でも少し言い方を変えたり、環境を調節したりすることでお子さんにとっては生活がしやすくなることもあります。ただ苦手をなくすだけでなく、得意を伸ばすことや生活しやすくすることを目的として、お子さんのその子らしさを大切にしながら発達を支えることが小児リハビリの役割です。

2.当院でおこなっているなごひかキッズ運動クラブについて

山田病院のなごひかキッズ運動クラブでは、運動が苦手な子どもの特性を理解したスタッフが運動を好きになってもらうように専門的知識・技術を発達段階・特性に合わせてアプローチしていきます。縄跳び、鉄棒、跳び箱、マット運動など学校体育のカリキュラムに合わせて対応しています。楽しい動きを取り入れて運動遊びに夢中になり、いろいろな遊びに挑戦しながら、基本的な動きができるように取り組んでいます。さらに、当院独自のスポーツテストで運動能力を分析し、運動能力の向上とともに目標達成に向けて支援をしています。「できない」ことが「できる」ようになることは子どもたちの自信にもつながります。また、幼児期の運動は発達成長段階でも非常に重要で、身体的・心理的な発達・成長を私たちがサポートします。そして集団での取り組みであるため、同年代でのかかわりが増えコミュニケーションの場としても活用していただいています。小児リハビリに携わらせていただいてから、お子さんの成長が見られることがとても楽しみになりました。また、日々の中でお子さんから学ぶことも多くあり自分自身も学び、成長させられています。

令和7年度 賛助会員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町2-32	TEL 058-273-3007(代)
有限会社 中部義肢 〒486-0911 愛知県春日井市西高山町3丁目16-12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒485-0805 愛知県小牧市大字林210-3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒502-0848 岐阜県岐阜市早田本町1丁目9番地	TEL 058-233-7981
株式会社 Lee製作室 〒910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地40-9	TEL 0776-50-1105
有限会社 であい工房 〒738-0034 広島県廿日市市宮内3300	TEL 0829-39-0041
昭和貿易株式会社 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目18番27号	TEL 06-6441-5612
株式会社 コーヤシステムデザイン 〒194-0212 東京都町田市小山町142-1	TEL 042-798-4644
株式会社 K-support岐阜 〒503-1277 岐阜県養老郡養老町有尾20番地4	TEL 0584-47-9507
岐阜日産自動車 株式会社 〒500-8137 岐阜県岐阜市東興町1番地	TEL 058-245-1313

2025.11.25

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会 会長／河合 克尚

事務局：〒500-8384 岐阜市数田南1丁目11番12号 岐阜水産会館 4B-4号室
TEL・FAX(058)277-6166

編集：矢代真也 印刷所：ヨツハシ株式会社